

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804438

案件番号 :1884546

主分野課題 :運輸交通/運輸交通行政

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

航空需要の増大が著しい開発途上国では、今後多くの空港の新設や拡張が予想される。空港整備においては、政策や安全技術を考慮した建設から、建設後の安定した運営や効率的な維持管理（騒音等環境問題への配慮、地震・津波対策等含む）までの総合的な計画が必要となるため、こうしたノウハウを求める国に対し、これまで多様な空港整備・運営を手掛けた我が国のノウハウを活かして研修を実施する。また、本邦企業の技術を紹介する場を設ける。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

本研修を通じ習得した知見をふまえ、建設・運営・維持管理に係る空港計画が作成・提案され、また研修員が作成・提案する今後の活動計画が、研修員の所属先等、自国の空港計画担当部署にて共有・検討される。

【成果】

1. 自国空港における空港計画の現状及び課題が整理される。
2. 建設から運営・維持管理まで含めた空港計画について、我が国の事例に係る知識を習得し、説明できる。
3. 自国空港の現状及び課題を踏まえ、空港計画の素案やその実現のための組織、体制の案が作成される。
4. 研修員が作成したアクションプラン案が所属組織で共有・検討され、必要な見直しと共に実現可能な活動計画が理解される。

【対象組織】

中央省庁及び地方自治体における航空当局または空港会社（空港整備主体）

【対象人材】

1. 空港の計画又は運営・維持管理の担当者。
2. 空港の計画又は運営・維持管理を行っている部署に5年以上在籍した経験があり、本研修参加後に3年以上継続して空港の計画又は運営・維持管理に携わる予定である者。
3. 大学卒業、同等の教育課程修了。
4. 英語が堪能（会話、記述）な者
5. 心身共に健康である者

内 容

【事前活動】

1. 自国の空港に関するカントリーレポートの作成。

【本邦研修】

1. 以下の内容について、講義、実習、視察及び討論を行う。
 - ・カントリーレポートの発表及び討議。
 - ・航空行政（大都市圏空港整備、オープンスカイ等）。
 - ・空港計画（基本計画、パブリックインボルブメント等）。
 - ・空港の運営・維持管理（上下一体運営、PFI・PPPの活用、効率的な維持管理、環境対策等）。
 - ・最新の空港技術（地震・津波等対策等）に関する講義や視察。
 - ・本邦企業の技術紹介。
2. アクションプラン案（空港計画素案、実現のための組織体制案を含む）の作成、発表及び討議。

本邦研修期間

2018/8/26～2018/10/6

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA横浜

関係省庁

国土交通省

実施年度

2018～2020

主要協力機関

調整中

特記事項
及び
ホームページ

Website of JCAB, MLIT
<http://www.mlit.go.jp/koku/index.html>